

駐日マレーシア大使館

特命全権大使 ダト・アハマッド・イズラン・ビン・イドゥリス 閣下

中国新疆ウイグル自治区に住むウイグル人の権利を代表する国際的な組織である組織 (世界ウイグル会議) の代理として、私はこの手紙を書いています。

ウイグル人コミュニティの代表として、現在マレーシアで拘禁されている 11 人のウイグル難民の国外追放を中止することを強く要請します。私たちは、彼らの生命を救い、彼らが安全な第三国に落ち着くことを見届けるために、マレーシア政府に対して人道的配慮を求めています。中国政府が難民を彼らに引き渡すようにマレーシアに圧力をかけてくるであろうことを私たちは理解していますが、これらの 11 人の生命がかかっているため、簡単に判断すべき問題ではありません。

私たちはこの状況の深刻さを強く主張しなければなりません。これらの 11 人の人々はもし中国に強制送還されたら、公正な裁判を受けることができず、司法制度を活用することもできなくなるでしょう。代わりに、彼らはきっと中国で拘禁されている間に、恣意的拘束、強制的失踪や拷問にかけられることでしょう。世界ウイグル会議では、過去 20 年間において、300 件以上の中国に引き渡されたウイグル人の事例を文書化しており、マレーシアの事例も数件含まれています。こうした事例の大部分において、私たちは彼らがその後どうなったのか消息がつかめていません。マレーシア政府がこれらの難民を引き渡せば、それは死刑宣告を下したのと同じです。

私たちがマレーシア政府に対して理解していただきたいのは、拷問、強制的失踪、恣意的拘禁など人権侵害の重大な危険にさらされる国に、このウイグル人たちを送り返すことは、国際法と人権規範に違反するだけでなく、道徳的に間違った行動であるという点です。

これらの 11 人はより良い人生を求めて中国から逃れ、信じている宗教を理由に迫害を受けたり、民族的アイデンティティを理由にした差別を受けることのない生活を送りたいのです。彼らはそのために、司法制度を利用することなく、つねに強制送還の脅威に晒されながら、タイに 4 年間近く拘禁されました。私たちは政府に対して彼らにこれ以上の苦しみを与えないでほしいと要求します。

これらの人々は父親であり、夫であり、兄であり息子です。もしマレーシア政府が彼らを中国に引き渡せば、これら 11 人の人生が壊滅的なダメージを受けるのみにとどまらず、彼らの家族や愛する人達やウイグル人コミュニティ全体に打撃を与えることになります。

詳細な調査は、これらの人たちが何も間違ったことをしていない点をはっきりさせることを私たちは政府に保証します。中国政府は、以前から引き続いて、彼らが信じている宗教を理由に、罪のないウイグル人の人たちに「テロリスト」であるというレッテルを貼ろうとしています。この告発にはそれを証明する何の証拠もありません。

私たちは、マレーシア政府が国際人権規範を遵守し、ウイグル人を中国に送還しないでほしいと、再度嘆願いたします。

敬具

(署名)

名前

役職

組織名

住所